

6/3「創業融資 free」がリリース！

free 株式会社は、2019年6月3日より、スモールビジネス事業者向けに、創業時の融資を受ける際に必要な申請書類を無料で簡単に作成できるサービス「創業融資 free」の提供を開始いたしました。

＜創業融資 free＞ <https://www.free.co.jp/funding/>

「創業融資 free」は、ガイドに沿って必要事項を入力するだけで、日本政策金融公庫の「新創業融資制度」の申請に必要な創業計画書を作成することができます。「新創業融資制度」とは、新たに事業を始める方、または事業開始後税務申告を2期終えていない方を対象とした無担保・無保証人の制度です。

＜新創業融資制度＞ <https://bit.ly/2qpm8oy>

free 株式会社は、法人・個人事業主向けの事務管理を効率化するためのクラウドサービスを開発、運営するフィンテック企業です。メインサービスは「クラウド会計ソフト free」です。その他、「会社設立 free」、「開業 free」なども提供しています。また、資金繰り支援としては、請求書買い取りの「クラウドファクタリング」OLTA、free 特別条件の融資サービス（銀行・ノンバンク）、カード会社と共同開発した「free カード」などの支援も行っています。

つまり、「創業融資 free」は、これを入口とした顧客の囲い込み戦略の一環として位置付けられているのでしよう。まさにワンストップサービスです。

「創業融資 free」の利用手順について

まずは、**＜ステップ1＞**として、書類作成に必要な情報を入力します。創業者の基本情報、事業内容、事業所在地、従業員数、創業の動機、過去の事業経験、借入状況などです。次に**＜ステップ2＞**として、主な収入や支出の内容を入力します。立ち上げ時の支出、月々の売上高、月々の運転資金、家賃、採用、教育費などです。そして**＜ステップ3＞**として、希望者には専門家が無料で面談が実施されます。作成した事業計画書をもとに、専門家による面談が無料で受けられます。さらに、希望者には有償の融資手続きの申請サポートも用意されています。

専門家が見つかっていない起業家にとっては、こういうサービスを利用すれば、効率よく書類作成をすることができますので、とても便利だと思われます。

今後は、もう創業融資の専門家の支援は必要ないのか？

本サービスは専門家による支援も受けることもできますが、この専門家とは free が紹介する「税理士」です。よって、「創業融資の専門家」というわけではなさそうです。創業融資においては、申請者に大きな問題がなければ融資を受けることのできる可能性は非常に高いといえます。しかしながら、完璧な状況の申請者ばかりではありません。よって、紹介される税理士の力量に左右されると考えられます。

【これから起業される方】においては、こういう無料サービスはとて有難いものです。よって、是非とも利用されてみてはいかがでしょうか。そして、free から紹介される「税理士」に相談してみて、実力があって信頼できそうだったら、そのまま支援をお願いしても良いと思われます。

【創業融資を支援している専門家】においては、ネガティブになるのではなく利用してみるのも一案です。扱いに慣れれば今まで以上に効率的に資料作成ができるようになるでしょう。**ビジネスモデルの提案や難題などに対しては、「創業融資 free」“そのもの”はサポートすることはできません**。よって、**本物の創業融資の専門家の出番だと思われます**。ここに専門家としての存在価値があります！たとえ AI レベルのサポートが導入されたとしても、まだまだ難しい領域だと言わざるを得ないと思われます。

何はともあれ、作業の効率化という視点では、このような無料サービスが実施されることはとても便利です。Free にとっては、当然のことですが企業戦略があって実施していることは明らかです。ただ、利用する側としては、自分が利用しやすいスタイルで利用すればよいだけのことです。今後、AI によるフルサポート付きの創業融資支援ツールでもできたら、それは素晴らしいことです。